

## はじめに



本市の65歳以上の高齢者人口は、平成12年度の介護保険制度創設当時から大幅に増加しており、令和7年までは上昇傾向で推移することが見込まれています。また、高齢化率は、平成12年の21.4%から令和3年では30.8%に上昇しており、まさに超高齢社会を迎えております。

令和7年には、いわゆる「団塊の世代」と呼ばれる方の全てが75歳以上となり、今後10年間は後期高齢者人口の増加に加え、介護・支援を必要とする高齢者や認知症高齢者、高齢者のみの世帯の増加などが見込まれています。

今後は、高齢者の方が住み慣れた地域の中で健やかな生活を継続できるよう、地域共生社会の実現を目指して、保健・医療・福祉などの関係機関が連携し、住民の皆様と協力しながら、様々な高齢者福祉施策や介護保険事業を着実に推進していかねばなりません。

このたび策定しました「第8期津山市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」では、「医療」「介護」「介護予防」「住まい」「日常生活支援」が包括的に確保される津山らしい「地域包括ケアシステム」構築の方向性や指針を示しています。

今後は、本計画に沿い、高齢者が可能な限り住み慣れた地域において、それぞれの状況に応じて自立した日常生活を営むことができるよう着実に取組を進めてまいりますので、住民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

終わりに、策定にあたり、津山市高齢者保健福祉・介護保険事業運営協議会をはじめ、アンケート調査等にご協力いただきました皆様に、心より御礼を申し上げ、ご挨拶といたします。

令和3年3月

津山市長 谷口圭三